 	シート <biweekl< td=""><td>y CPT-11療法(子宮頸がん)></td><td> 第 コース</td></biweekl<>	y CPT-11療法(子宮頸がん)>	 第 コ ー ス
患者ID @PATIENTID	biweekly (CPT-11療法(子宮頸がん)プロトコ-	
生年月日 @PATIENTBIRTH3) CPT-11(イリ	, · · · · ·	··15······36 ↓ next
│ 患者氏名		() () () () () () () ()	in→
性別 @PATIENTSEXN 年齢 @PATIENTAGEFORMATTED	. 1		
〈疾患名〉	(前コースの化		年 月 日
□ 子宮頸がん	┃┃⟨前コースの投	了 里/	
	イリノテカン	•	
告知 □あり □なし	1 1	mg	
Ⅲ.化学療法実施過程			
* 投与日当日のチェック事項 (記載のない	場合はDr. に確	認を行った後、薬局3689に連絡す	<u>る)</u>
		<u> </u>	
			<u> </u>
真	数量)
1) デキサート注 3.3mg/1mL	× 2,		
グラニセトロン点滴バッグ 3mg/100mL (持続点滴:0.5時間)	× 11	3	
	/		
2) イリノテカン 100mg/5mL イリノテカン 40mg/2mL	×()' ×()'		
生食 500mL	× 11		
(持続点滴:1.5時間)			
3)生食50mL	× 11	3	
(持続点滴:全開で フラッシュ用)			
		J	
Ⅲ. 化学療法剤投与量算出		¬	
<cpt-11投与量></cpt-11投与量>		<備考欄>	
□前コースと投与量同じ(2コース目以降の) み)	│	重曹(1.8g/日 公3食
身長(cm) 体重(Kg)	間)、メトクロプラミド錠(3錠/E	
体表面積(m ²)		コール酸錠(3錠/日、分3)の	
CPT-11(イリノテカン)投与量(mg/body)	~4に行う。 	
) × (%)		
		主治医薬剤	師薬剤師

2024/7/2

* Dr. が二重線の枠内を記入して

開始前日10:30までに薬局へ提出してください。

	病棟•外来	化学療法「	フークシー	-ト <cpt< th=""><th>「−P療法(子</th><th>-宮頸がん)></th><th>></th><th>第</th><th>コース</th></cpt<>	「−P療法(子	-宮頸がん)>	>	第	コース
I.基			-						;
	. —	PATIENTID TIENTBIRTH3					ル(every ay1・・8・		
患有	者氏名 @PA ⁻	TIENTNAME		11(イリノラ DP(シスプ		60mg/m^2 60mg/m^2	\downarrow \downarrow	Ţ	next in→
	— <i></i> -	ATIENTSEXN TAGEFORMATTED		••		<u>o</u>			i
			_ <i>{,</i>	フの ル営	一/—/— /	\	<i></i> 年		-
	〈疾患名 □子宮頸がん	5 >	11 11	-スの化字 -スの投与	療法開始日 -量〉	/	工	月	B
告 知	□あり □なし		イリ	リノテカン		゚ラチン			
<u> </u>	<u></u>		<u> </u>	<u>m</u>	<u> </u>	mg			
	日当日のチェック事項	頁 (記載のない場合	はDr.に	確認を行っ	った後、薬局	3689に連絡で	する)		
	 薬剤名		数量		第1日目 第	第2日目 第3日	<u>第4日</u>)	第8日	1目 第15日
1) ラクラ	テック	1000mL	<i></i>	X1B			<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>
	読点滴メイン:2時間) ノセトロン点滴バッグ	0.75mg/50mL		× 1B					
デキ	サート注 読点滴側管:0.5時間)	3.3mg/1mL		×3A					
	サート注 ニセトロン点滴バック	3.3mg/1mL 3mg/100mL		× 2A X1B					
(持約	売点滴メイン:0.5時間)			XIB.					
	ノテカン	100mg/5mL 40mg/2mL	×(×()V)V					
生食 (持編	: 読点滴側管 : 1.5時間)	500mL		X1B					
	ンドカプセル 服:day1はシスプラチン投与の	01~1.5時間前に服用)		× 1セット	125mg	80mg 80mg	g		
5) デカ (内間	ドロン錠 服:1日2回 朝·昼食後)	0.5mg/錠		×16錠/日					
6) ラクラ		1000mL		X1B				_	
7) シス・	プラチン注	50mg/100mL	×()V					
シス	プラチン注 プラチン注 -	25mg/50mL 10mg/20mL	×(×()V)V					
生食(持約	: 読点滴側管 : 1.5時間)	500mL		× 1B					
8) フロー	セミド注 ノショット静注側管)	20mg/2mL		X1A					
9) 生食 (持統	: 読点滴側管:全開で フラッシ.	50mL ュ用)		X1B					
9) 生食		50mL		X1B					
<u> </u>	療法剤投与量算出								
		1·CDDP投与量 >			<備考根 •day1~3	劉> は1000mLの飲	ア水を行う		
	コースと投与量同じ(2= 身長(cm) 体重(Kg)	イリノテカ			[(1 0∝/□	ム2合
1	本表面積(CPT-11(イリノテカ	m ²) い投与量 <i>(</i>	ma	g/body)	間)、メトク	ロプラミド錠(3	錠/日、分3	3)、ウル	ノデオキ
	= 60mg/m ² × 体表		²) × (%)	day1~41			双を必要!	上心して
		ン)投与量(mg	(/body)	・本レジメ 	ンは原則最大の	6コース。		
	= 60mg/m ² ×体表	t 田稹(m	²) × (%)					
					主治	医	薬剤師	淳	終剤師
123 7 薬局改訂									

病堆	. <i>₽</i>	本

化学療法ワークシート<Pembrolizumab+TC療法>

Pembrolizumab (キイトルーダ)

笙	- -
弗	コース

<u>I.基本</u>情報

@PATIENTID 患者ID 生年月日 @PATIENTBIRTH3

患者氏名 @PATIENTNAME

@PATIENTSEXN 性別 年齢 @PATIENTAGEFORMATTED Pembrolizumab+TC療法プロトコール(every 3 weeks) day1 day 22

200mg/body next in↓

PTX(パクリタキセル) AUC 5 CBDCA(カルボプラチン)

 175mg/m^2 1

〈疾患名〉

□子宮頸がん

告 知 □あり □なし (前コースの化学療法開始日) 年 月

〈前コースの投与量〉

キイトルーダ パクリタキセル カルボプラチン

mg

Ⅱ. 化学療法実施過程

*投与日当日のチェック事項 (記載のない場合はDr. に確認を行った後、薬局3689に連絡する)

第1日目

	薬剤名		数量	
1)	生食 (持続点滴メイン:	100mL ルート確保用)		× 1B
2)	キイトルーダ 生食 (持続点滴側管:0	100mg/4mL 100mL).5時間)	×()V X1B
3)	レスタミンコーワ錠 (内服:パクリタキ	10mg セル開始30分前に服用)		5錠
4)	デキサート ファモチジン 生食 (持続点滴側管:	3.3mg/1mL 20mg/20mL 50mL 5分)		X6A X1A X1B
5)	パロノセトロン点滴バッグ (持続点滴側管:0			X1B
6)	パクリタキセル パクリタキセル 生食 (持続点滴側管:3	30mg/5mL 500mL	×(×()V)V X1B
7)	カルボプラチン カルボプラチン カルボプラチン 生食 (持続点滴側管:1	150mg/15mL 50mg/5mL 250mL	×(×(×()V)V)V X1B
8)	生食 (持続点滴側管::	50mL 全開で フラッシュ用)		× 1B

 /

Ⅲ. 化学療法剤投与量算出

<Pembrolizumab • PTX • CBDCA 投与量> □前コースと投与量同じ(2コース目以降のみ) 身長(体重(cm) Kg) m^2) 体表面積(Pembrolizumab (キイトルーダ) 投与量(mg/body) =200mg/body PTX(パクリタキセル)投与量 mg/body) $m^2) \times ($ = 175mg/m²×体表面積(CBDCA(カルボプラチン)投与量(mg/body) $= [CCr()+25] \times AUC5$ × (%)

- ・インフュージョンリアクションを起こした場合、次回コースよ りタリオン錠10mg×1錠、カロナール錠200mg×3錠をキイト ルーダ投与1時間前に内服する。
- ・インラインフィルター $(0.2 \sim 5 \mu m)$ を使用すること。
- →JMS輸液セット: PVCフリーで可(上記条件を満たす)
- ・本レジメンは原則最大6コースまで。
- ・本レジメン終了後、Pembrolizumab療法(子宮頸がん)に移 行する。
- ・化学療法未治療の手術または放射線療法による根治治 療の対象とならない進行または再発の子宮頸がんの症例 に用いる

主治医	薬剤師	薬剤師

病棟・外来 化学療法ワークシート <pembro< th=""><th>blizumab療法(子宮頸がん)> 第 コース</th></pembro<>	blizumab 療法(子宮頸がん)> 第 コース
	umab療法(子宮頸がん)プロトコール(every 3 weeks)
生年月日 @PATIENTBIRTH3	day1 · · · · · · 22
	(トルーダ) 200mg/body ↓ next
│ 患者氏名	in→
## BIL @DATIENTOEVN	
性別 @PATIENTSEXN 年齢 @PATIENTAGEFORMATTED	
〈疾患名〉 【前コースの化学	
□子宮頸がん □犬お頭がん □ (前コースの投与	- ·
<u>告知 □あり □なし n</u>	ng
Ⅱ. 化学療法実施過程	
*投与日当日のチェック事項 (記載のない場合はDr. に確認	8を <u>行った後、薬局36</u> 89に連絡する)
	<u>│</u> │ <u>│</u> ── <u>第1日目</u>
薬剤名 規格 数量	1
人 薬剤名 規格 数量	
1) 生食 100mL ×1B	
(持続点滴メイン:ルート確保用)	
2) キイトルーダ 100mg/4mL ×()V	
生食 100mL X1B	
(持続点滴側管:0.5時間)	
3) 生食 50mL ×1B	
(持続点滴側管:全開で フラッシュ用)	
Ⅲ. 化学療法剤投与量算出	
<pembrolizumab投与量> □前コースと投与量同じ(2コース目以降のみ)</pembrolizumab投与量>	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
	ン錠10mg×1錠、カロナール錠200mg×3錠をキイトルーダ投与1時
体表面積(m ²)	間前に内服する。 ・インラインフィルター(0.2~5 μ m)を使用すること。
	→JMS輸液セット:PVCフリーで可(上記条件を満たす)
Pembrolizumab (キイトルーダ) 投与量 (mg/body)	・Pembrolizumab+TC療法からの移行の場合、キイトルーダの投与
$=200 \text{mg/body} \times ($	は合わせて最大35サイクルまでとする。
	<u> </u>
	* Dr. が二重線の枠内を記入して 開始並口10:20 までに落足。 提出してください
	開始前日10:30までに薬局へ提出してください。

mg

	Ι		基本情報	1
Γ	串	Ξ.	<u>⊬</u> i⊓	

1 117 116	
患者ID	TC+アバスチン療法プロトコール(子宮頸がん)(every 3 weeks)
@PATIENTID	day1·····day22
患者氏名	「PTX(パクリタキセル) 175mg/m ² ↓ next
@PATIENTNAME	【CBDCA(カルボプラチン) AUC 5 ↓ in →
患者生年月日 年齢	Bevacizumab (アバスチン) 15mg/kg ↓
@PATIENTBIRTH3@PATIENTAGEFORMATTED	
〈疾患名〉	(前コースの化学療法開始日)
口子宮頸がん	<u>年月日</u>
	《前コースの投与量》
	・パクリタキセル ・カルボプラチン ・アバスチン

mg

<u>第1日目</u>

mg

Ⅱ. 化学療法実施過程

口あり

告 知

*投与日当日のチェック事項 (記載のない場合はDr. に確認を行った後、薬局3689に連絡する)

	薬剤名	規格		数量
1)	レスタミンコーワ錠 (内服:パクリタキセル	10mg 投与開始30分前に	:服用)	5錠
2)	デキサート ファモチジン パロノセトロン点滴バッグ (持続点滴:0.5時間	3.3mg/1mL 20mg/20mL 0.75mg/50mL)		× 6A × 1A × 1B
3)	パクリタキセル パクリタキセル 生食 (持続点滴:3時間)	100mg/16.7mL 30mg/5mL 500mL	×(×()V)V ×1B
4)	カルボプラチン カルボプラチン カルボプラチン 生食 (持続点滴:0.5時間	450mg/45mL 150mg/15mL 50mg/5mL 250mL)	×(×(×()V)V)V ×1B
5)	アバスチン アバスチン 生食 (持続点滴:1.5時間	400mg/16mL 100mg/4mL 100mL xiB(生理食塩液)	×(×(_{変に添加し})V)V C約100mL)
6)	生食 (持続点滴:全開で	50mL フラッシュ用)		×1B

口なし

ㅠ ルヴ族は刻机と早倍山

皿. 化子浆法剂抗	文子重昇出				
<ptx•< td=""><td>CBDCA • Bevacizur</td><td>mab投与量></td></ptx•<>	CBDCA • Bevacizur	mab投与量>			
□前コースと投与量同じ(2コース目以降のみ)					
身長(cm) 体重(Kg)			
体表面積(m ²)実測値CCr(mL/min)			
	セル) 投与量(
$= 175 \text{mg/m}^2$	×体表面積($m^2) \times ($ %)			
CBDCA(カルボプラ	ラチン)投与量(mg/body)			
= (CCr()+25] × AUC 5	5×(%)			
Bevacizumab (アバ	スチン)投与量(=15mg/k				

<備考欄>

- ・パクリタキセル用点滴セットを使用
- ・本レジメンを手術後28日以内に開始する場合、アバスチンは使 用しない。

必要量を注射筒で 抜き取り、日局生 理食塩液に添加し て約100mLとする。

•5)は初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間 で行っても良い。2回目の投与においても忍容性が良好であれば、 それ以降の投与は30分間投与とすることができる。

т	基	*	丰	#	Ŀ
1	本	卆	18	¥	У

1. 坐作旧拟	
患者ID	TC療法(子宮頸がん)プロトコール(every 3 weeks)
@PATIENTID	day1 · · · · · · · · 22
患者氏名	CBDCA(カルボプラチン) AUC 5 ↓ next
@PATIENTNAME	PTX(パクリタキセル) 175mg/m^2 \downarrow in \rightarrow
患者生年月日 年齢	
@PATIENTBIRTH3@PATIENTAGEFORMATTED	··
	/ ガュースのル党債は関係ロ\
〈疾患名〉	〈前コースの化学療法開始日〉
	<u>年月日</u>
〈疾患名〉	<u>年月日</u> 〈前コースの投与量〉
	<u>年月日</u>
〈疾患名〉	<u>年月日</u> 〈前コースの投与量〉

Ⅱ 16子撩法夫肔迥怪

<u>(記載のない場</u>合はDr. に確認を行った後、薬局3689に連絡する)

				第1日目
	薬剤名	規格	数量	(/)
1)	レスタミンコーワ錠 (内服)	10mg	5錠	
2)	デキサート	3.3mg/1mL	×6A	
	ファモチジン	20 mg/20 mL	×1A	
	パロノセトロン点滴バッグ (持続点滴:0.5時間		× 1B	
3)	パクリタキセル	100mg/16.7mL		
	パクリタキセル	•		
	生食 (持続点滴:3時間)	500mL	× 1B	
4)	カルボプラチン	450mg/45mL	×()V	
	カルボプラチン			
	カルボプラチン	•		
	生食	500mL	× 1B	
	(持続点滴:1時間)			
5)	生食	50mL	× 1B	
	(持続点滴:全開で	フラッシュ用)		

(114)	
Ⅲ. 化学療法剤投与量算出	
<cbdca・ptx投与量></cbdca・ptx投与量>	<備考欄>
口前コースと投与量同じ(2コース目以降のみ)	・パクリタキセル用点滴セットを使用
身長(cm) 体重(Kg)	・本レジメンは原則最大6コースまで
体表面積(m²) 実測値CCr(mL/min)	
CBDCA(カルボプラチン)投与量 <u>(mg/body)</u>	
= [CCr()+25] × AUC5 × (%)	
PTX(パクリタキセル) 投与量(mg/body)	主治医薬剤師薬剤師
= 175mg/m ² ×体表面積(m ²)×(%)	
* Dr が二番線の炒け	カを記入して開始前日10:30までに薬局へ提出してください

* Dr. が二重線の枠内を記入して開始前日10:30までに薬局へ提出してください。

病棟・外来 化学療法ワーク	/シート <wee< th=""><th>y CPT-11療法(子宮頸がん)></th><th>・ ・ 第 コース</th></wee<>	y CPT-11療法(子宮頸がん)>	・ ・ 第 コース
患者ID @PATIENTID	weekly	CPT-11療法(子宮頸がん)プロトコ	Iール(every 4 weeks)
生年月日 @PATIENTBIRTH3	ODT 11(day1••	81529 ↓ ↓ ↓ next
患者氏名 @PATIENTNAME	CPT-11(1	リノテカン) 100mg/m² ↓	in→
性別 @PATIENTSEXN			
年齢 @PATIENTAGEFORMATTED	!		
〈疾患名〉	(前コースの	: 学療法開始日〉	年 月 日
□ 子宮頸がん	(前コースの		
	イリノテカ	ン	
		mg	
Ⅱ. 化学療法実施過程	JB		<u>.</u>
*投与日当日のチェック事項(記載のない	場合はDr. に	≝認を行った後、楽局3689に連絡↑ ➡️	する)
		<u> </u>	
*** **! <i>C</i>	ᄽ		日目 第15日目
真	数量		
1) デキサート注 3.3mg/1mL	>	2A	
グラニセトロン点滴バッグ 3mg/100mL	×	IB	
(持続点滴:0.5時間)			
2) イリノテカン 100mg/5mL	× ()V	
イリノテカン 40mg/2mL 生食 500mL	×()V	
		'9	
3) 生食 50mL (持続点滴:全開で フラッシュ用)	*	IB	
(14 496/(1/19) - 1/11)			
Ⅲ. 化学療法剤投与量算出		/ 供 老 棚 >	
<cpt-11投与量></cpt-11投与量>	n 7. \	<備考欄> イリノテカン:	
□前コースと投与量同じ(2コース目以降の	りみ)	1リノテカン: ・下痢対策として柴苓湯連月	日、重曹(1.8g/日、分3食
身長(cm) 体重(K) ┃ ┃間)、メトクロプラミド錠(3錠/	′日、分3)、ウルソデオキシ
体表面積(m²)		コール酸錠(3錠/日、分3)の	D内服を必要に応じてday1
CPT-11(イリノテカン)投与量(mg/bod) ~4に行う。	
= 100mg/m ² ×体表面積(m ²) × (
		主治医薬	利師 薬剤師
			ZICTIE!
		* Dr. が二重線の枠内を記	

Ι		基本情報
患	1	ID

@PATIENTID

患者氏名

@PATIENTNAME

患者生年月日

年齢

@PATIENTBIRTH3@PATIENTAGEFORMATTED

〈疾患名〉 口子宮頸がん

<u>告 知 □あり</u> 口なし

	weekly TC療法(=	ア宮頸がん)	7615	ル(ev	ery 4	weeks)	_
			day1••	-8	15••	•••29	
, 	PTX(パクリタキセル)	80mg/m^2	\downarrow	\downarrow	\downarrow	next	
	CBDCA(カルボプラチン)	AUC2	\downarrow	\downarrow	\downarrow	in→	

《前コースの化学療法開始日》 年 月 日 〈前コースの投与量〉

・パクリタキセル ・カルボプラチン mg

mg

Ⅱ. 化学療法実施過程

薬剤名

*投与日当日のチェック事項 (記載のない場合はDr. に確認を行った後、薬局3689に連絡する)

数量

規格

1)	レスタミンコーワ錠 (内服)	10mg	5錠
2)	デキサート ファモチジン グラニセトロン点滴バッグ (持続点滴:0.5時間	3.3mg/1mL 20mg/20mL 3mg/100mL 引)	× 6A × 1A × 1B
3)	パクリタキセル パクリタキセル 生食 (持続点滴:1時間)	100mg/16.7mL 30mg/5mL 250mL	×()V ×()V ×1B
4)	カルボプラチン カルボプラチン カルボプラチン 生食 (持続点滴:1時間)	450mg/45mL 150mg/15mL 50mg/5mL 250mL	×()V ×()V ×()V ×1B
5)	生食 (持続点滴:全開で	50mL 『フラッシュ用)	× 1B

第1日目	第8日目	第15日目
(/)	(/)	(/)

Ⅲ. 化学療法剤投与量算出

<CBDCA-PTX投与量> □前コースと投与量同じ(2コース目以降のみ)

身長(

cm)

体重(Kg)

体表面積(m²)実測値CCr(mL/min)

PTX(パクリタキセル)投与量(mg/body) = 80mg/m²×体表面積(m²)×(

CBDCA(カルボプラチン) 投与量(mg/body)

 $= [CCr()+25] \times AUC 2 \times (%)$

<備考欄>

パクリタキセル用点滴セットを使用

主治医 薬剤師 薬剤師

* Dr. が二重線の枠内を記入して開始前日10:30までに薬局へ提出してください。

病梅	• 47	メサ	-
אדוצאני		バー	

化学療法ワークシート<放射線併用 weekly CDDP療法> 第1コースのみ

I.基本情報 患者ID @PATIENTID 患者氏名 @PATIENTNAME 患者生年月日 年齢 @PATIENTBIRTH #PATIENTAGEFORMATTED 〈疾患名〉 □子宮頸がん 告知 □あり □なし	放射線併用 weekly CDDP療法 プロトコール(every weeks) day 1・・8・・15・・22・・29・・36 CDDP(シスプラチン) 40mg/m² ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	
Ⅱ.化学療法実施過程	のかい担合けり、1-7変割を欠った後、N、杉英早2000に海奴ナス	`
* 仅子口ヨロのテェック争項(記載)	<u>のない場合はDr.</u> に確認を行った後、Ns.が薬局3689に連絡する	
	<u>第1日 第8日 第15日 第22日 第29日 第36</u>	<u> </u>
薬剤名 規格	数量 (/) (/) (/) (/) (/	_)
1) ラクテック 1000mL 1 (持続点滴メイン: 2時間)	X 1B	
2) パロノセトロン _{点滴} バッグ 0.75mg/50mL : (持続点滴側管:0.5時間)	X 1B	
3) シスプラチン 50mg/100mL シスプラチン 25mg/50mL シスプラチン 10mg/20mL 生食 500mL (持続点滴側管:2時間)	X ()V X ()V	
4) ラクテック 1000mL 1 (持続点滴メイン:2時間)	X 1B	
5) フロセミド注 20mg/2mL 1 (ワンショット静注側管)	X 1A	
 Ⅲ. 化学療法剤投与量算出 <cddp 投与量=""></cddp> 身長(cm) 体重(体表面積(m²) CDDP(シスプラチン) 投与量(= 40mg/m²×体表面積(幅気・嘔吐時、適宜イメンド追加する。mg/body)	
* Dr. が二重総	東剤師 薬剤師 薬剤師 薬剤師 薬剤師 薬剤師 薬剤師 薬剤師 薬剤師 薬剤師	10